

# 福 故 知 新

実行委員会形式になって10年。過去の実行委員の人や成人式を影で支えている人たちに、この10年を振り返ってもらい、今後の実行委員や新成人に期待することなどを伺いました。



平成 12 年実行委員  
福田 智子さん

## 地域への感謝の気持ちを

わたしは、中学生のときに国際交流協会でダボ市へ行きました。それで、いつか市や地域に恩返しがしたいと思っており、成人式実行委員に誘われた時、喜んで引き受けました。

話し合いの中で、「地域への感謝」「地域へ貢献したい」ということになり、新成人のみならず募金を募り、市内の小学校へサッカーボールとドッジボールを購入して実行委員が届けました。

わたしは、このようなボランティアに参加することを通して、より一層、この美濃加茂市が好きになりました。



平成 15 年実行委員  
ぎやま ちほ  
樹山 知穂さん

## 太鼓演奏を通して得たもの

わたしは「ただ成人式に出席するだけでは面白くない」という思いから、実行委員に応募しました。

話し合つ中で「自分たちで何かイベントをやる」という考えが生まれ、太鼓演奏をすることにしました。

しかしみんな太鼓の素人だったので、かなり練習をしました。

式当日は少し失敗もあったけれど、やり遂げたことに対してとても感動を覚えました。この経験を通して、みんなで協力することの大切さを学べ、「自分でもできるんだ」という自信も付きました。

今年度の実行委員の人たちには、一生に一度の思い出に残ることなので、頑張つてやり遂げてほしいと思います。



平成 18 年実行委員長  
今井 秀樹さん

## 「響」に込めた思い

成人式という人生の節目の年に自分が委員長として企画・運営にかかわれたことに感謝をしています。

この年の実行委員は7人という少ない人数でしたが、メンバー一人一人が自分の役割をこなしてくれたおかげで、苦労は全くありませんでした。

自分たちで考えたテーマ「響」は、「友情」、「感謝」、「気持ち」がみんなの心に響くことを願って決めました。

式が終わわり、友人の「僕も実行委員をやりたいかった」という言葉に、自分たちの手作りの式が認められたという感じがして、うれしかったです。

成人式は硬いイメージがありますが、毎年いろいろな趣向を凝らして楽しめるよう実行委員も頑張っているのです、新成人の皆さんはぜひ参加してほしいです。

